

プレス発表資料

令和6年11月5日

国立研究開発法人海上・港湾・航空技術研究所 海上技術安全研究所

令和6年度 第24回海上技術安全研究所 講演会「内航海運の課題解決に向けた技術開発」を12月6日にハイブリッド方式で開催（ラボツアーも同日開催）

国立研究開発法人海上・港湾・航空技術研究所 海上技術安全研究所（所長 峰本健正）は、令和6年12月6日（金）に、「内航海運の課題解決に向けた技術開発」をテーマに第24回海上技術安全研究所講演会をハイブリッド方式（対面・オンラインの併用）で開催します。講演会終了後、ラボツアー（対面のみ）も開催いたします。皆様の参加登録をお待ちしております。

今回の講演会では、「内航海運の課題解決に向けた技術開発」をテーマとして、基調講演1件、外部講演2件及び研究講演2件（対面・オンラインの併用）を行います。また、講演会終了後のラボツアー（対面のみ）では、下記の施設を公開します。

日程及びプログラムは、以下のとおりです。

開催日：令和6年12月6日（金）

●講演会：13:00～15:20

（ハイブリッド開催、定員：対面100名、オンライン500名（先着順））

●ラボツアー：15:30～16:30

（対面開催、定員30名（先着順））

会場（対面）：海上技術安全研究所講堂（東京都三鷹市新川6丁目38番1）

参加費は無料ですが、事前の登録が必要になります。

事前登録サイト：https://www.nmri.go.jp/event/seminar/r6/seminar_r6.html

運営の都合上、上記の定員を設けさせていただきます。定員に達し次第、登録を締め切らせていただきます。



会場の様子（R6年度研究発表会）

【講演会プログラム】

■開会挨拶（13:00～13:05）

海上技術安全研究所 所長 峰本 健正

■基調講演（13:05～13:15）

国土交通省 海事局長 宮武 宜史 様
「内航海運の技術開発に係る政策動向」

■外部講演（13:15～13:45）講演 25 分、質問 5 分

独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構
共有船舶建造支援部長 井上 清登 様
「鉄道・運輸機構の制度と建造支援」

■外部講演（13:45～14:15）講演 25 分、質問 5 分

一般社団法人内航ミライ研究会 専務理事 渡辺 慶太 様
「内航海運の課題解決をボーダーレス組織で挑戦」
～組織、取組みの枠を超えて現場への技術フィットに挑戦～

■研究講演（14:15～14:45）講演 25 分、質問 5 分

海上技術安全研究所 特別研究主幹 平田 宏一
「内航船の省力化・労働負荷低減のための運航支援・自動化技術」

■研究講演（14:45～15:15）講演 25 分、質問 5 分

海上技術安全研究所 環境・動力系 動力システム研究グループ長 仁木 洋一
「船舶分野における代替燃料利用技術と環境負荷低減技術」

■閉会挨拶（15:15～15:20）

海上技術安全研究所 研究統括監 藤原 敏文

※ 講演タイトルは、変更になる可能性がございますので、予めご了承ください。

【ラボツアー内容】 15:30～16:30

下記の 3 つの施設を見学頂きます。

1. 大型キャビテーション水槽 15 分

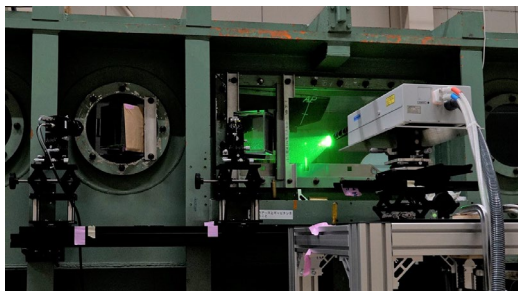
プロペラキャビテーションの変動圧及び水中騒音計測に関連する研究テーマについて、大型キャビテーション水槽を用いたキャビテーション試験技術を紹介します。

2. 模型連結バージの遠隔操縦試験 15 分

プッシャー船から切り離された後の自律運航バージの遠隔操縦システムについて、タブレットを用いた模型バージの遠隔操縦試験を紹介します。

3. 総合シミュレーションシステム 15 分

総合シミュレーションシステム及び自動避航操船システムを総合シミュレーションシステムに接続した航海シミュレーションを紹介します。



大型キャビテーション水槽



模型連結バージの遠隔操縦試験



総合シミュレーションシステム

<お問い合わせ先>

国立研究開発法人海上・港湾・航空技術研究所

海上技術安全研究所 企画部広報係

Tel : 0422-41-3005 Fax : 0422-41-3258

E-Mail : info2@m.mpat.go.jp

URL : <https://www.nmri.go.jp>